

通し番号	3976
------	------

分類番号	15-15-17-01
------	-------------

(成果情報名) 県西地域チャ産地におけるカンザワハダニの殺ダニ剤感受性	
[要約] 県西地域(松田町、山北町)の、チャに寄生するカンザワハダニに対する殺ダニ剤について感受性検定を行った結果、5剤中2剤で成虫に対する感受性の低下が、2剤中1剤で卵に対する感受性の低下が確認された。	
(実施機関・部名) 神奈川県農業総合研究所 津久井試験場	連絡先 0426-85-0203

#### [背景・ねらい]

チャの害虫であるカンザワハダニは、発育期間が短く、薬剤抵抗性が発達しやすいことが知られている。このため、現在県西地域で使用されている殺ダニ剤についてカンザワハダニに対する感受性を検定することにより防除指導の基礎資料とする。

#### [成果の内容・特徴]

- 1 散布法を用いてカンザワハダニ成虫に対する薬剤感受性検定を行った結果、テブフェンピラド乳剤、ヘキシチアゾクス・DDVP乳剤について死虫率が低くなり薬剤感受性の低下が認められ、地域間の差も見られた(表1)。
- 2 BPPS乳剤およびクロルフェナピル水和剤のカンザワハダニ成虫に対する薬剤感受性はどの地域においても高かった(表1)。
- 3 浸漬法を用いてカンザワハダニ卵に対する薬剤感受性検定を行った結果、エトキサゾール水和剤では高い感受性が認められたが、ヘキシチアゾクス・DDVP乳剤では各地域とも感受性の低下が認められた(表2)。

#### [成果の活用面・留意点]

- 1 チャのカンザワハダニの防除指導のための基礎資料となる。
- 2 検定をした地点の情報であり、県内の全ての地域に当てはまるものではない。

[ 具体的データ ]

表 1 散布法による雌成虫の薬剤感受性 ( 2 日後調査 )

薬 剤 名	倍率	補正死虫率 ( % )		
		松田町		山北町
		中山	虫沢	峰
テブフェンピラド乳剤 (ピラニカEW)	1000倍	25.1	77.7	50.0
ヘキシチアゾクス・DDVP乳剤 (ニッソランV乳剤)	1000倍	15.0	35.9	71.6
ミルベメクチン乳剤 (ミルベノック乳剤)	1000倍	100.0	98.4	86.5
BPPS乳剤 (オマイト乳剤)	1500倍	100.0	100.0	99.8
クロルフェナピル水和剤 (コテツフロアブル)	2000倍	100.0	100.0	97.9

1)補正死虫率(%)={ (蒸留水散布区の生存虫率-処理区の生存虫率) / 蒸留水散布区の生存虫率 } x 100

表 2 浸漬法によるカンザワハダニ卵の薬剤感受性 ( 9 日後調査 )

薬 剤 名	倍率	殺卵率 ( % )		
		松田町		山北町
		中山	虫沢	峰
エトキサゾール水和剤 (バロックフロアブル)	1000倍	93.7	86.6	89.2
ヘキシチアゾクス・DDVP乳剤 (ニッソランV乳剤)	1000倍	82.5	68.6	68.2
蒸留水	-	8.2	5.8	2.7

[ 資料名 ]

平成15年度神奈川県農業総合研究所津久井試験場試験成績書

[ 研究課題名 ]

県内茶産地別のカンザワハダニに対する殺ダニ剤効果試験

[ 研究期間 ]

平成15～16年度

[ 研究者担当名 ]

嶋津貴紀